

「まちづくりフォーラム」開催概要

- 目的 地域の宝「泉州タオル」ブランドを広めるための具体策を考える
- 日程 6月9日(月) 15:30～17:00 ※第5回運営評議会終了後
- 場所 ゼンセン関西会館 4階
- 内容 コーディネーターを交えたパネルディスカッション
 - ◆コーディネーター
勝瀬典雄氏 (兵庫県立大学大学院経営研究科 客員教授)
 - ◆パネラー
 - 大阪タオル工業組合加盟会社の代表者
大阪タオル工業組合 理事長 中沢茂氏 (中沢織物 代表)
大阪タオル経営者協会 会長 神藤貴志氏 (神藤タオル(株) 社長)
 - 小売業のMD担当者1名
阪急阪神百貨店 家庭用品商品部 バイヤー 片山裕之氏
 - 消費者代表1名
ダスキン労働組合 中央執行委員 泰中沙織氏
 - ◆当日の流れ
 - 15:30～ 委員長挨拶・趣旨説明
 - 15:40～ 事例報告
山梨県富士吉田市および群馬県足利市桐生市における
繊維産業の事例
 - 16:10～ パネルディスカッション。
 - 17:00 まとめ・終了

「まちづくりフォーラム」パネルディスカッション概要について

コーディネーター 勝瀬典雄

コーディネーターからパネルディスカッションにパネラーとして参加いただく皆様に、セッションを進めるに当たりコーディネーターとしてお話しする内容「報告事例」を参考に「まちづくり」委員会として、どのように地域の宝をブランド化する取組にしていくかの皆様とのセッションの進め方をお知らせしますのでご参考にして下さい。

目的：地域の宝「泉州タオル」ブランドを広めるための具体策を考える

- コーディネーターとして地域ブランド化及び取組事例報告でお話しする内容
 - ・ 今治タオルの取組から見る地域のブランド化の成功要因と取り組み方
 - 地域がまとまって活性化に取り組むための基本的な考え方
 - 個別企業の戦略の見直しとまとまって動くための戦略の策定
 - ・ 流通構造から見る製造現場の現状と課題
 - 顧客窓口までの複雑な流通構造について
 - 今後の課題となる製品・商品・市場開発・ブランド化にいかに取り組むか
 - ・ 足利・桐生の小規模繊維メーカーの取組から
 - 日本における小規模繊維製造メーカーの力を見直す取組
 - 海外が評価する日本の技術にもう一度目を向ける取組
 - ・ 富士吉田市の繊維メーカーの取組から
 - 大手請け企業として製造してきた製品の価値の見直しと技術の再評価を行い。新たなる取り組みのために技術とノウハウの情報発信に取り組んでいる事例

以上の内容を事例としてお話しいたします。

「パネルディスカッションの進め方」

- ① パネラーの自己紹介 現在の仕事の概要を含めお話しいただきます。
- ② 泉州タオルの皆様、現在の泉州タオルの状況についてお話しいただきます。
- ③ 先にお話しした事例・泉州タオルの現況についてのご感想とご意見をいただきます。
- ④ 皆様のお話からテーマを少し絞ってセッションを進めてまいります。
- ⑤ パネルディスカッションの内容に会場から少し意見をいただきます。
- ⑥ 最後に皆様の意見を元にまとめたいと思います。

以上よろしくお願ひいたします。